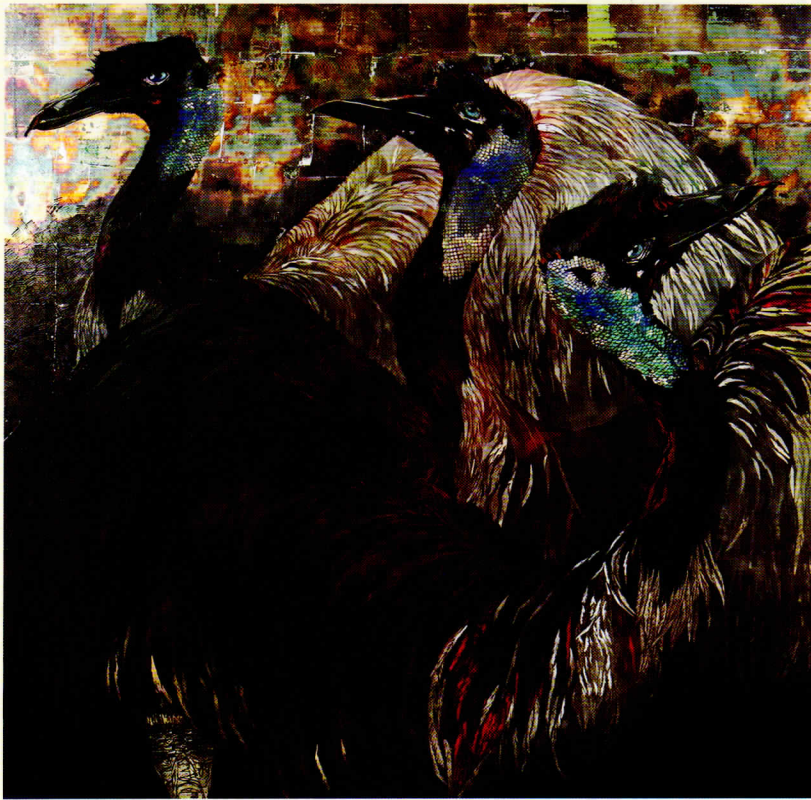


# 第14回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展



日本画の部 佐藤太清賞 濱田 卓也 「目線」



絵画の部 佐藤太清賞 大江 穂佳 「水溜り」

## 福知山会場 福知山市厚生会館

2015年1月17日(土)ー1月18日(日)

10:00~18:00 京都府福知山市字中ノ170-5 TEL.0773-22-4955

## 横浜会場 横浜赤レンガ倉庫1号館

2015年1月23日(金)ー1月26日(月)

11:00~18:00 神奈川県横浜市中区新港1-1-1 TEL.045-211-1515

## 東京会場 成増アクトホール

2015年2月5日(木)ー2月8日(日)

9:30~17:00 東京都板橋区成増3-11-3-405 TEL.03-5998-6881

## 福知山会場 福知山市佐藤太清記念美術館

2015年2月13日(金)ー3月1日(日)

9:00~17:00 京都府福知山市字岡ノ32-64 TEL.0773-23-2316

※特選以上及び福知山近郊の作品のみ展示

## 京都会場 京都文化博物館

2015年3月4日(水)ー3月8日(日)

10:00~18:00 京都府京都市中京区三条高倉 TEL.075-222-0888

(4日は13:00から、8日は17:00まで)

## 名古屋会場 名古屋市民ギャラリー矢田

2015年3月17日(火)ー3月22日(日)

10:00~18:00 愛知県名古屋市中区大幸南1-1-10 カルポート東3階

(22日は17:00まで) TEL.052-719-0430

## パネル展示 アークヒルズ

2015年1月22日(木)ー2月9日(月)

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル2F ベジマルシェ前

主催/京都府福知山市・福知山市佐藤太清記念美術館

共催/横浜赤レンガ倉庫1号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

名古屋市民ギャラリー矢田(公益財団法人名古屋市文化振興事業団)

後援/文化庁・京都府・京都府教育委員会・東京都板橋区

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・公益財団法人名古屋市文化振興事業団

京都文化博物館(公益財団法人京都文化財団)

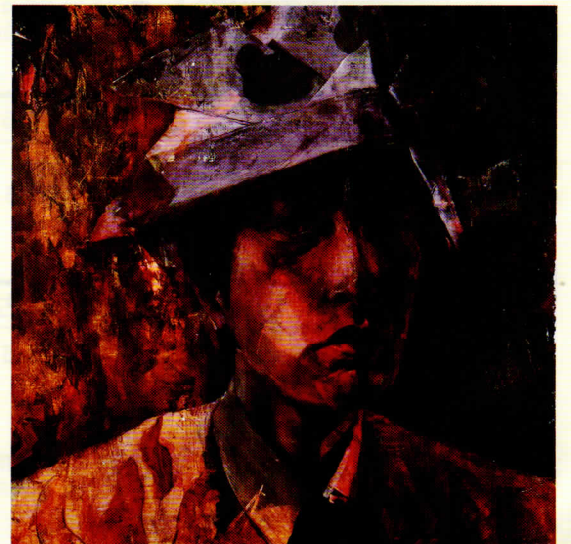
朝日新聞社京都総局・毎日新聞社京都支局・読売新聞社京都総局

産経新聞社京都総局・NHK京都放送局

京都新聞・KBS京都・両丹日日新聞社・神奈川新聞社・tvk(テレビ神奈川)



絵画の部 佐藤太清賞 川内 美佳 「過ぎ去りし時」



絵画の部 佐藤太清賞 梅原 義幸 「カエルの呪い」

# 佐藤太清賞公募美術展



京都府福知山市出身の文化勲章受章者 故 佐藤太清 は、現代日本画壇の重鎮として後進の育成にも心を注がれ、現在第一線で活躍する多くの日本画家を送り出されてきました。

福知山市は、その功績を讃え、その志を受け継ぐため、21世紀の芸術文化を担う人材の育成を目的として、高校生・大学生を中心に全国

から絵画作品の一般公募を行っています。

今回は、絵画の部85点、日本画の部57点の審査作品の中から、佐藤太清賞、特選、入選に選ばれた69点(絵画の部41点、日本画の部28点)を展示いたします。

## 日本画の部 総評

美術評論家・津和野町立安野光雅美術館館長 大矢 鞆音

佐藤太清賞公募美術展の審査に初めて参加した。日本画の部は27歳までの人たちの作品である。作品を見ると、端的に言えば、その作品の面白さに着目するか、うまさに重点を置くか、という視点に於いて作品に対峙する。もちろん、その両面が必要なことは論を待たないが、若い作家の場合は、かなり無理な注文であると思っていた。

発想・着想、構図への創作力、そして表現への技術的な完成度。日本画作品への挑戦のハードルはかなり高いと感じていたのだが、それは杞憂であると思いついた。57作品の中からの入賞・入選28作品を見ると、すべての人が美術系の大学生、もしくは卒業生であることを知った。なるほど、と実感した。

100号大のスクエアの画面を駆使しての制作は破たんなく描ききっており、なかなか見応えがあった。やはり、入賞作品の4点に惹きつけられた。佐藤太清賞の濱田卓也さんの「目線」をはじめ、福知山市長賞の篠崎遥香さんの「あの子たちの」、板橋区長賞の豊原聖一さんの「私から春になる」、横浜賞の江川直也さんの「夕影」は、それぞれ遜色がない。画面いっぱいを使っての構図、細かな背景に使用する金箔、銀箔の技術的なあしらいにも、その習得の高さを知った。

濱田さんの「目線」。画面全体を占める3羽のエミュー。銀箔を忍ばせたバックのダークな色調が作品を重厚なものにしている。篠崎さんの「あの子たちの」。大胆なまでの明るい画面。2人の人物の描き方に練達のうまさを感じた。作品全体に感じられる量感は圧倒的である。豊原さんの「私から春になる」。人物上部のバック、箔足を残しながらの金箔の上に転がるビー玉の点描。手前に広がる鮮やかな小道具たち。その赤い色彩のカオスのふしぎな量感が魅力的である。江口さんの「夕影」。沈む夕日の華やぎの中に、黒く点在する木々。画面を切る斜め

の稜線、それを締めるかのごとく描かれる林。金泥をわずかに掃いた木々の下、きわめて静かな、情感漂う作品となっている。

## 絵画の部 総評

洋画家・日本芸術院会員・東京芸術大学名誉教授・大阪芸術大学教授

絹谷 幸二

絵画の部では80名の力作が集まりました。それぞれの画面に作者の心の中の風景が鏡のように映し出され、審査する私達に共感を持って迎え入れられました。なかでも太清賞の三作、大江穂佳さんの「水溜り」は、進取の気持ちがみなぎり、新鮮な雨の日の出来事がすなおに表現された秀作です。梅原義幸さんの「カエルの兜」は、油画独自の力強い表現でしっかりと画布に想いが描き込められ、また、川内美佳さんの「過ぎ去りし時」は、不用になったイスに過ぎ去っていった友達に想いをつみかさねた、静かな詩情が流れていました。

福知山市長賞、福田幸恵さんの「溢」は、すぐれた描写力で光のゆらぎをみごとに表現し、板橋区長賞、俣田桜さんの「イノセント アイボリー」は、一輪のバラを持つ手に生きとし生ける者の命の大切さを描き込み、横浜賞、相澤菜々子さんの「地上の贈り物」は、寄りそう二人の間隙に美しく光る未来への希望を表現した秀作となりました。

また、三浦秀幸さんは祖父の背中に、梶村帆香さんは過ぎ去った想い出の中に、温かなやさしさを描き、峰松詩織さんの「花」は、不思議な空気が画面に満ちていました。吉間春樹さん、山口亜季子さんは、それぞれに描写技術に秀い出ていたと思いました。

受賞された皆さんに今後益々のご努力と新しい絵画の進展に期待したいと思います。

そして、おしくも選にもれた作品にもキラリと光るセンスが見受けられたことをお伝えしておきたいと思います。

福知山会場 2015年1月17日(土)・18日(日)

福知山市厚生会館

住所 京都府福知山市字中ノ170-5 ☎ 0773-22-4955  
開館時間 10:00~18:00 ※表彰式/1月17日(土)13:00~  
入館料 無料

東京会場 2015年2月5日(木)~2月8日(日)

成増アクトホール

住所 東京都板橋区成増3-11-3-405 ☎ 03-5998-6881  
開館時間 9:30~17:00  
入場料 無料

京都会場 2015年3月4日(水)~3月8日(日)

京都文化博物館

住所 京都市中京区三条高倉 ☎ 075-222-0888  
開館時間 10:00~18:00  
(4日は13:00から、8日は17:00まで)  
入場料 無料

名古屋会場 2015年3月17日(火)~3月22日(日)

名古屋市民ギャラリー矢田

住所 愛知県名古屋市中区大幸南1-1-10  
カルポート東3階 ☎ 052-719-0430  
開館時間 10:00~18:00(22日は17:00まで)  
入場料 無料

横浜会場 2015年1月23日(金)~1月26日(月)

横浜赤レンガ倉庫1号館

住所 神奈川県横浜市中区新港1-1-1 ☎ 045-211-1515  
開館時間 11:00~18:00  
入場料 無料

福知山会場 2015年2月13日(金)~3月1日(日)

福知山市佐藤太清記念美術館

住所 京都府福知山市字岡ノ32-64 ☎ 0773-23-2316  
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで。火曜休)  
入館料 大人210円、小・中学生100円 ※特選以上及び福知山近郊の作品のみ展示

パネル展示 2015年1月22日(水)~2月9日(月)

アークヒルズ

住所 東京都港区赤坂1-12-32  
アーク森ビル2F ベジマルシェ前